

公演企画のご案内

ARTISTS HEADLINE

2025-2026

Tempo Primo 株式会社テンポプリモ

TEATRO ALLA SCALA



2025.
9月

「絹のようなしなやかさを誇る」名門歌劇場のオーケストラ、8度目の来日実現！

ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団

l'Orchestra della Scala di Milano

指揮：チョン・ミョンファン ピアノ：藤田真央

©:Dovile Sermokas

2026.
3月

世界のMIDORIが贈るメンデルスゾーンを聴く

五嶋みどりwithルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団

MIDORI & Festival Strings Lucerne

ヴァイオリン：五嶋みどり 芸術監督：ダニエル・ドッツ

©:Timothy Greenfield-Sanders

完売に次ぐ完売。ドイツの名門オーケストラ人気沸騰のピアニストを従え2年ぶりの来日!

ベルリン交響楽団

Berliner Symphoniker

2025.
6-7月



ピアノ：石井琢磨

指揮・オーボエ独奏：ハンスイェルク・シェレンベルガー

来日する度に名曲プログラムを引っ提げ全国を駆け回っては観客を唸らせ、ソールドアウトの連続で各地主催者を熱狂させた人気オーケストラが11度目の来日を果たします。2022年からは元ベルリン・フィル首席オーボエ奏者のシェレンベルガーが首席指揮者に就任。ステージ上でカラヤンやアバドを前にして鳥肌立つようなソロを披露してきた彼が、今度は指揮者としてドイツ正統派のオーケストラの前に立つというから期待は高まるばかりです。YouTube登録者数、約25万人の新進気鋭のピアニスト石井琢磨との共演はクラシック音楽への新たな扉の一ページを刻むこと間違いありません。

Program

ベートーヴェン：交響曲第3番「英雄」
モーツァルト：オーボエ協奏曲
(独奏：シェレンベルガー) ほか

前回 2022 年ツアー全 11 公演中 9 公演完売! 全会場スタオベの熱狂を再び!

ポーランド国立放送交響楽団

Polish National Radio Symphony Orchestra

2025.
9月



ピアノ：角野隼斗

指揮：マリン・オルツォフ
(首席指揮者)

Program

ショパン：ピアノ協奏曲第2番
シュベルマン：ピアノ協奏曲 ほか

2022年の熱演と完売に次ぐ完売の記憶が新しいオーケストラが再来日します。ポーランドの古都カトヴィツェを本拠としヨーロッパ全土で名演を繰り広げていますが、今回の日本ツアーも衝撃をもって迎えられることでしょう。指揮には2020年から同楽団首席指揮者を務め、フィラデルフィア響、ロンドン・フィル、シカゴ響などオーケストラ界隈から引く手あまたとなったマリン・オルツォフを迎えます。前回の日本ツアーでの共演から相思相愛でもあるピアニスト角野隼斗を迎え、完売になること間違いありません。芸術の秋、各地が熱くなります。

ウクライナ不屈の魂を旋律に乗せて。「新世界」「第九」平和のハーモニーを共に。

ウクライナ国立 フィルハーモニー交響楽団

National Philharmonic Society of Ukraine Kyiv

2025.
12月



独奏：イワナ・プリシュ (ソプラノ) オリガ・タブリナ (アルト)
アレクサンドル・チュフピロ (テノール) アンドリー・マスリャコフ (バス)

2年以上に及ぶ困難な状況下で音楽監督のミコラ・ジャジュラは「武器はいらない。なぜなら私たちに楽器があるから。私たちの武器は音楽」と強い決意を込めて語っています。チャイコフスキーのルーツであるウクライナは、プロコフィエフ、ホロヴィッツ、リヒテル、オISTRAフ、コーガン等、その豊穡の地からそうそうたる音楽家を生み出してきました。2005年以來2年毎に来日し全国各地で感動を与えてくれたウクライナ国立フィルに、次は私たちが恩返しをする番です。「歓喜の歌」そして「新世界」。キーウの友人と共に手を取り合い平和の賛歌と一緒に歌いましょう!

※「キエフ国立フィルハーモニー交響楽団」から改称

指揮：ミコラ・ジャジュラ (音楽監督)

Program

2つの「第九」
ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」
ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱付き」

創立60周年にして初の日本ツアー。メディアで話題のソリストが登場!

デンマーク・フィルハーモニー 管弦楽団

Danish Philharmonic Orchestra

2025.
4-5月

招聘：北陸・金沢「ガルガンチュア音楽祭」



Program

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲、交響曲第4番、5番
シベリウス：交響曲第2番 ほか

北欧・デンマークよりニールセンとの深い交友を誇る国営オーケストラが来日。1985年には、デンマーク王妃の生誕50周年を記念して、王室一家のためにコンサートを開催した楽団です。2023年には創立60周年を迎え、同国領内のフェロー諸島やグリーンランドで大きな成功を収めたオーケストラ。デンマーク南部地域はもとより、ドイツ北部地域でも活躍し、これまでにサラ・チャン、ルチャアーノ・パヴァロッティなどの著名アーティストとも共演を重ねて絶賛を博しています。幸福度世界ナンバーワンを誇ったデンマークで育まれた、至福の北欧サウンドをお楽しみいただけることでしょう。

指揮：ヘンリック・シェーフアー

ヴァイオリン：廣津留すみれ

PIANO BATTLE

2025. 10-11月

全世界3000回の公演で25万人を動員!

黒のボールと白のアンドレアス。5ラウンドで争い観客が勝敗を決めるピアノ対決。全ヨーロッパ・全米大ヒットのクラシック・エンターテインメント、遂に日本初上陸!

ピアノ・バトル Piano Battle

それぞれ黒と白のスーツで決めた長身のイケメンピアニスト、ボールとアンドレアスが演奏で対決し、勝敗を観客が決める新しい形のコンサートです。2010年に香港音楽フェスティバルに際して結成され、母国ドイツでもベートーヴェン音楽祭、ラインガウ音楽祭等に招待、ベルリン・フィルハーモニーでも公演を行うなどクラシックの本場で受け入れられと共に、メディアに取り上げられて世界的に大ヒット。名曲対決、超絶技巧対決、エンタメ対決等5ラウンドに渡り、ステージ上で男たちの熱い戦いが繰り広げられます。

PROGRAM

- Battle.1 超絶技巧対決 ショパン:エチュード VS スクリャービン:エチュード
- Battle.2 名曲対決 シューベルト:幻想曲 VS ドビュッシー:月の光
- Battle.3 現代音楽対決 リゲティ VS テープル・テニス(!?)
- Battle.4 「月光ソナタ」対決 ベートーヴェン:月光ソナタを弾き比べ!
- Battle.5 ファイナル「展覧会の絵」対決 ムソルグスキー:展覧会の絵の演奏で勝敗が決まる!



ボール・シビス(黒) Paul Gibis, Black
ドイツのハノーファー、ベルリンとイギリスのロンドンでピアノを学び、若くして才能を発揮して世界中で演奏活動を行うようになる。フランス音楽を得意としフォーレ、ドビュッシー、ベルリオーズの作品集のCDをリリースしたほか、ショパンやリストの超絶技巧曲も弾きこなす。端正なルックスでBBC, WDR, ORB等ヨーロッパ各国のテレビにも出演したほか、ドキュメンタリー「ピアノ・マニア」に音楽監督として参加し国際ドキュメンタリー賞を獲得した。好きな作曲家はショパン、好きな作品はシューマンの子供の情景ほか多数。好物はタイカレー。ポップスで好きな歌手はマイケル・ジャクソン。趣味はビリヤードとチェス。地球で最も好きな場所は自宅。身長187cm、年齢非公表(母親より27歳年下とのこと)。携帯の着信音はショパンのエチュード。



アンドレアス・カーン(白) Andreas Kern, White
南アフリカ生まれ。ドイツに移住してケルンとベルリンでピアノを学ぶ。ソリストや室内楽奏者としてヨーロッパ、カナダ、日本や中国等世界各国に招聘される。本格派ピアニストとして活動する傍ら、俳優やダンサーとの共演を行うなど早くから幅広いコラボレーションを行ってきた。フランスとドイツの音楽番組「アート・ラウンジ」出演のホスト役を務めて名声を博し、これまでにマスキュー、ルノー・カブソン、サラ・チャン、レービン、メンケマイヤー、ガランチャ等と番組にて共演を果たした。好きな作曲家はシューマン、好きな作品はバッハの二短調のピアノ協奏曲。好きな俳優はウディ・アレン。地球で最も好きな場所はボールが住む場所の裏側。身長185cm、年齢非公表(ボールよりは年下とのこと)。携帯は常にサイレントモード。

2025. 秋 難関ウィグモアホール・コンクールで4つの特別賞を得て優勝 韓国出身女性メンバーのカルテットが“黒一点”の新メンバーを加え、次なるステージへ!

エスメ弦楽四重奏団 Esmé Quartet

アルバン・ベルクSQのギンター・ビヒラーや名手クリストフ・ポッペンからの薫陶を受けて名声を高める韓国のカルテットです。2018年にはロンドンのウィグモアホール弦楽四重奏コンクールでぶっぎりの優勝を果たし、ヴァルビエ音楽祭、ルツェルン音楽祭等に招かれるなどスター街道まっしぐら。種々しくも構成力抜群で既に完成されたベートーヴェンの15番、シューベルト「死と乙女」をメインとしたプログラム。驚愕必至です。



PROGRAM

- ハイデン:弦楽四重奏曲第1番 リゲティ:弦楽四重奏曲第1番
- ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第15番 もしくは シューベルト:弦楽四重奏曲第14番「死と乙女」



Thielemann指揮 シュターツカペレ・ベルリン



ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ

2025. 10-11月 国際コンクール36回優勝。待望の9回目の来日公演! **チェコ少女合唱団《イトロ》** Czech Girl's Choir "Jitro"

国際コンクールを36回も制する名実共に世界最高の少女合唱団。欧米各国のツアーで高い評価を博し、とくにアメリカでは「全合唱団の歌唱様式を変えた」と絶賛。ノン・ヴィヴラートの透き通った歌声で至福のひと時を提供します。公演の前後に行われるアウトリーチや地元合唱団との交流事業も毎回好評です。



PROGRAM

- <クリスマス名曲集> バーリン:ホワイトクリスマス ピアボント:ジングルベル
- <チェコの名曲> ドヴォルザーク:交響曲第9番より第2楽章(遠き山に日は落ちて)、わが母の教え給いし歌 スメタナ:モルダウ
- <日本歌曲> 岡野貞一:ふるさと 菅野よう子:花は咲く 中村雪武:虹よ永遠に ~真実房子原爆体験記より~ ほか

Coming Soon! 2026-27

- 2026年 ベルリン国立歌劇場管弦楽団《シュターツカペレ・ベルリン》(指揮:クリスティアン・ティーレマン)
- ハンガリー・ブタペスト交響楽団(指揮:小林研一郎)
- フランス国立オーヴェルニュ管弦楽団(指揮:トマス・ツェートマイヤー)
- タリス・スコラズ(指揮:ピーター・フィリップス)
- ザ・キングズ・シンガーズ
- ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ(指揮:ロイド・バトラー)

Soloist

美音に磨きがかかる大物ヴァイオリニスト、健在。 **ジュリアン・ラクリン(ヴァイオリン)**



Julian Rachlin, Violin

幼少の頃から天才ヴァイオリニストとして世界的に活躍。今は40半ばで演奏家として最も充実した年齢となり、ウィーンの楽友協会の定期公演シリーズに継続的に出演するなど依然トップソリストとして疾走。久々にあの震えるような美音を聴くことができます。近年は指揮者としても活躍し、巨匠への道歩んでいます。

PROGRAM

- ベートーヴェン、ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ ほか



深みのあるサウンド。NYフィル、N響との共演は話題沸騰。 **アリョーナ・バーエワ(ヴァイオリン)**

Alena Baeva, Violin

2025. 4月 2007年の仙台国際音楽コンクール優勝で鮮烈デビューを果たしてはや16年。近年もN響をバックに絹のようになめらかな深淵なる音色でシューマンの協奏曲を奏でて絶賛を博しました。今年ニューヨーク・フィルへのデビューも決まった彼女は、いまこの世代で最も注目を集める女性ヴァイオリニストといえるでしょう。

PROGRAM

- ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第9番「クワイツェル」 ほか

ウィーン・アーティスト・オブ・ザ・イヤー。驚愕の超絶技巧がNHK紹介され大反響 2025. 10月 **ヤボルカイ兄弟(ヴァイオリン・チェロ)**

Sandor and Adam Javorkai, Violin and Cello

ヨーロッパで大ブレイク。若き頃から国内外のコンクールをことごとく制覇し、ウィーンのグラミー賞として名高い「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」に選ばれ注目を集める兄弟デュオ。日本でも大人気で毎年のように招かれて引継ぎ続けてきた。ギネス記録を超える「熊蜂の飛行」の速弾きは必聴!

PROGRAM

- バルトーク:ルーマニア民族舞曲
- サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン
- リムスキー・コルサコフ:熊蜂の飛行
- ハチャトゥリャン:剣の舞 ほか



PROGRAM

- ボルス:カルメン幻想曲(フルート)
- クレガ:アルハンブラの思い出(ギター)
- デュオ曲:調整中 ほか



日本の活動が多岐におよぶジャスミン・チェイとバク・キュヒ。フルート界とギター界を引っ張ってきた2人によるデュオコンサートが実現! 2人共々数々の国際コンクールにて優勝し輝かしいキャリアを築き上げ、母国 韓国での演奏はもとより世界各地での活動を続けてきたが、今回の共演は初! フルートの力強い響きとギターの甘美な音色は、客席を満すこと間違いなし!

2025ショパンコンクール優勝筆頭。凱旋公演なるか。 **ピョートル・アレクセイヴィチ(ピアノ)**

Piotr Alexewicz, Piano

フランス・ガニー国際コンクール、全ヨーロッパショパン・コンクールで優勝を果たし、2021年のショパン国際ピアノコンクールで稀にみる激戦の中ポーランド唯一のファイナリストとして聴衆を沸かせたのが当時21歳のアレクセイヴィチ。既にその演奏が高い評価を受けてヨーロッパ中からオファーが殺到するライジングスターで、2023年ベルリン交響楽団とのツアーで日本デビューを果たしました。甘いマスクにとろけるようなピアノイズム。ショパンコンクールの凱旋公演となるツアーをお楽しみください。

PROGRAM

- オール・ショパン・プログラム
- 華麗なる大円舞曲、3つのマズルカ、バラード第4番、
- アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ ほか

Conductor



ロシアの魂。驚愕のチャイコフスキー演奏で観客を震撼させた「赤いカラヤン」 **ジュリアン・ラクリン** Julian Rachlin



「私たちの武器は音楽」ウクライナ最高の指揮者 **ヴァレリー・ポリャンスキー** Valery Polyansky



「私たちが武器は音楽」ウクライナ最高の指揮者 **ミコラ・ジャジュラ** Mykola Ihudiura



「父を超える天才」と絶賛される英国人指揮者 **アダム・ヒコックス** Adam Hickox



ほとばしる熱い指揮! グリークの弾き振りは必見。 **ヴァハン・マルディロシアン** Vahan Mardirossian

怒涛のタップ、重厚な生バンド、一糸乱れぬ群舞、きらめく衣装…。
大人気、世界チャンピオングループが届ける、ダンスの真の魅力に満ち溢れた芸術の世界！

トリニティ・アイリッシュ・ダンス

TRINITY IRISH DANCE COMPANY

2025.

7月

2004年の初来日以来、北海道から沖縄まで通算102公演、総動員数は何と12万人を超える人気のアイリッシュ・ダンス・カンパニーが10度目の日本ツアーを行います。世界選手権で優勝を果たしたメンバーで構成されており、その目にも止まらぬ高速の足技の連続で観客を魅了しました。芸術監督は、トム・ハンクス等ハリウッド・スターの演出も務めるマーク・ハーワード。ニューヨーク・タイムズが「空飛ぶ脚」と絶賛し、各地で完売を続出させているステージをぜひご体感ください。



舞台から伝わる、信じられないほどの情熱
—— ロン・ハーワード (映画監督)

伝説がベールを脱いだ！
—— アイリッシュ・ダンス・マガジン

空飛ぶ脚
—— ニューヨーク・タイムズ

アイリッシュ・ダンスのルーツがこの姿
—— 宮本亜門 (演出家)

一糸乱れぬ庄巻のダンス。
生命力があふれて人を元気にさせる
ステージです！
—— 鈴木明子 (プロフィギュアスケーター)

もう素晴らしい一言に尽きます！
—— デヴィ・スカルノ (タレント)



アリー・ダウティ
(プリンシパル・ダンサー/2014年世界チャンピオン)
Ali Doughty, Principal Dancer

フィラデルフィア出身。8歳で地元のダンススクールに通い始め、オハイオ州デイトン大学在学中の2014年に世界選手権で優勝。2016年に大学を卒業後にトリニティ・アイリッシュ・ダンスに参加し、現在は名門ノースウェスタン大学院で理学療法博士課程に在学する傍ら、トリニティの芸術監督補佐を務めている。



マーク・ハーワード (芸術監督)
Mark Howard, Artistic Director

アイルランド人の両親のもとヨークシャーに生まれる。シカゴに移住し9歳でダンスを学んだ。北米選手権優勝などキャリアを積んだ後、17歳でトリニティ・アカデミー・オブ・アイリッシュ・ダンスを設立。「プログレッシヴ・アイリッシュ・ダンス」の思想のもと、これまで競技会中心であったアイリッシュ・ダンスをエンターテインメントの要素を伴う総合舞台芸術として確立させたが、これが後続のリバーダンス等の出現に影響を与えた。1991年「100人のアイリッシュ・アメリカン」に選出、93年には米テレビ界最高の栄誉とされるエミー賞を受賞。「バックドラフト」等多くの映画、TV、舞台作品で振付を手掛ける。トム・ハンクス等大スターのプライベート・コーチとしても有名。



ふたたび全国各地ソールド・アウト続出！サーカス界のトップアーティストが集結しフルオーケストラと共演する

“夢の協奏曲”、大絶賛につき4度目の来日公演決定！

シルク・ドゥラ・シンフォニー

Cirque de la Symphony

演奏：ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団 (指揮：ミコラ・ジャジュラ)

2026.
1月

全米で年間100回近く公演が行われている大ヒット公演、ふたたび全国各地ソールド・アウト続出にて4度目の来日決定！フルオーケストラのコンサートとサーカスを融合させたエンターテインメント「シルク・ドゥラ・シンフォニー」が絶大な支持を集めて2026年1月に全国ツアーを行います。コンサートホールで本格的な生演奏と共にサーカスのパフォーマンスを楽しむことを目的として2006年に設立。アメリカの名門フィラデルフィア管弦楽団とのニューヨークでのデビュー公演が大成功を収めて以来、ボストン・ポップス、シカゴ響など世界的なオーケストラとパフォーマンスを行って絶賛を博しています。プログラムは「白鳥の湖」「カルメン」「天国と地獄」「美しく青きドナウ」等名曲のオンパレード。オーケストラの生演奏の迫力と、その頭上はるか高く行われるエアリアルな演技に驚きとため息の連続！世界最高のパフォーマンス集団による、他に類を見ない大スペクタクルをお楽しみください。



プロフィール

「コンサートホールにサーカスを」のコンセプトで、フルオーケストラとの共演だけを行う世界唯一のパフォーマンスグループとして2006年にアメリカで発足。メンバーはエアリアル、フラフープ、ジャグリング、怪力男やピエロなど8名から成り、いずれもシルク・ドゥ・ソレイユ等の有名団体にキャリアを有す他、オリンピック選手や国際選手権のゴールドメダリストも含まれている。これまでアメリカを中心にカナダ、メキシコ、ペネズエラ等北中米にて年間50〜100回の公演を行ってきた他、2015年には初のアジアツアーを開催。名門フィラデルフィア管弦楽団とニューヨークでのデビュー公演を果たして以来、ボストン・ポップス、シカゴ交響楽団、アトランタ交響楽団、ミネソタ管弦楽団、シドニー交響楽団、ロシア国立交響楽団等の超一流の楽団をはじめ世界中の100以上のオーケストラと共演。特に全米のツアーに際しては各地完売が続出する人気公演となっている。

メンバー

- アレクサンダー・ストレルソフ (芸術監督)
- エレナ・ツァルコヴァ (コントーション)
- ウラディミール・ツァルコフ (ジャグリング)
- ソフィア・ストレルソヴァ (フラフープ)
- ブランドン・グリム (エアリアル&エアリアル・ボール)
- オーブリー・ローレンス (エアリアル)
- エフゲニー・ヴァシレンコ (スラック・ワイヤー&シル・ホイール)
- セルゲイ・パーシン&アレクサンダー・トルスティコフ (ストロングマン/エアリアル・ストラップ)

クラシックの珠玉の名曲の数々。ニューイヤー特別プログラム！

ヨハン・シュトラウス：美しく青きドナウ、雷鳴と箏奏 ビゼー：カルメン組曲 ワーグナー：楽劇「ワルキューレ」
オッフェンバック：天国と地獄 エルガー：威風堂々 シベリウス：フィンランディア 他



稀代の歌舞伎役者が語るその人生と地唄舞の世界

坂東玉三郎 お話と素踊り

人間国宝・坂東玉三郎が歌舞伎役者として、また芸術家として語るトークショーがここ数年好評を博してきましたが、「玉三郎の踊りが見たい!」というお客様のご要望に応え、地唄舞を披露することとなりました。歌舞伎役者としての人生が50年を超え、ヨーヨー・マとの共演や鼓動の芸術監督、そして近年は歌手としても活躍する稀代の芸術家。その言葉は私たちの心に響き、またその舞は一生目に焼き付いて離れません。贅沢な時をお楽しみください。

PROGRAM

前半:玉三郎による語りと質問コーナー
後半:地唄舞「雪」

制作:ドゥデザイン



大好評!

視覚障害を乗り越え25年。うつくしき心が音となって響き渡る。

川島成道 ヴァイオリン・リサイタル

小学生の頃に薬の副作用で目を患ってからヴァイオリンを始めた彼は、読譜のできないハンデを多くの演奏会やレコードを聴くことで、また血のにじむような練習をこなすことで補って、プロの舞台に立ちました。その活動が話題になってメディアに大きく取り上げられながらも、浮かれることなく地道に一つずつコンサートを積み上げ、その結果が今の彼のソリストとしての地位を築いています。耳を傾けてください。一つ一つの音に、お客様への想いと温かみがかもっています。



PROGRAM

パッハ=グノー:アヴェ・マリア
クライスラー:愛の喜び
サラサーテ:ツイゴインルワイゼン
モンティ:チャールダッシュ
メンデルスゾーン:歌の翼に ほか

(マネジメント協力:テンポプリモ)

客席の満足度200%保証。大好評につきロングラン!

假屋崎省吾×横山幸雄「ピアノと花の華麗なる世界」

テレビでお馴染み假屋崎さんによる楽しいトークと、名ピアニスト横山幸雄さんによるショパンやリストの名曲をお届けします。ピアノのメロディに乗せて生け花のライブパフォーマンスもあり、假屋崎さん自身が得意のピアノを披露するサプライズあり、何とも盛り沢山のコンサートです。客席の満足度200%保証。※ピアニスト三船優子パージョンもあります。



PROGRAM

前半:横山幸雄によるオール・ショパン・プログラム(華麗なる大円舞曲、バラード第1番、ワルツ第9番、MC/假屋崎省吾)

後半:假屋崎と横山による生け花とピアノのセッション リスト/ラ・カンパネラ パッハ=グノー(横山幸雄編/アヴェ・マリア) ほか

企画:みどり音楽企画/(公財)浜松市文化振興財団 協力:ジャパンアーツ

能楽界に悪魔降臨。和の魅力を広く多くの人々にお届けします。

デーモン閣下が贈る能楽公演「幽玄悪魔」

多彩なジャンルで活躍するデーモン閣下。実は30年来日本の伝統芸能、特に能楽とのコラボレーションをずっと探求し新作を作り続けています。悪魔界から降臨し、私たちに本来の和の魅力を伝えてくれます。室町時代から続く笛方・一噌幸弘を中心としてシテ方、狂言方、囃子方が閣下と共に能楽の古典を紹介。更に洋楽器も加わり、新作能楽の大セッションが繰り広げられます。



デーモン閣下



一噌幸弘

PROGRAM

能楽古典:三番三、狂言朝比奈
一噌幸弘:深山幻想記、総田楽の舞
共演:茂山千三郎、馬野正基、望月太喜之丞 ほか

NEW!

SINSKE&鏡リュウジ ホロスコープ・アワー

世界をまたに活躍するマリimba奏者SINSKEとレジェンド占星術研究家鏡リュウジがお届けする音楽とトークの魔法の時間。

12星座別、参加者の方への星からのメッセージ、そして参加して下さっている方だけへの特別な星の伝言も。星座別にエナジーをアップさせる音楽をSINSKEが演奏します。星と音楽のひとときはきっとあなたの幸せの扉を開いてくれるはず。不安なこの世は星座が解決! 愉快なトーク&コンサート・ショー。



鏡リュウジ



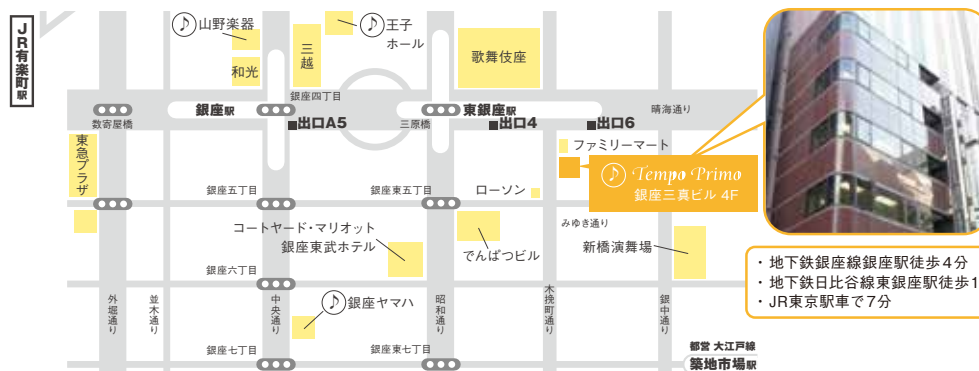
SINSKE

公演概要

休憩 1 回、約 2 時間プログラム

企画:office yamane

Welcome to our office!



株式会社テンポプリモ

代表取締役 中村 聡武
牧 初恵 松田 志保 伊藤 亜紀子 桶家 菜摘 根津 優理恵
鈴木 杏奈 陳 博雅 中條 辰啓 富田 暁 サリヨール サラ

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-19
銀座三真ビル4階

TEL 03-3524-1221 FAX 03-3524-1222

E-mail info@tempoprime.co.jp

Website http://www.tempoprime.co.jp

- ・地下鉄銀座線銀座駅徒歩4分
- ・地下鉄日比谷線東銀座駅徒歩1分
- ・JR東京駅車で7分

アホなしも大歓迎。
近くまでお越しの際にはぜひお立ち寄りください!

Tempo Primo

www.tempoprime.co.jp

テンポプリモ 検索